



発行
KOA 森林塾
(事務局)
0265-70-7065
編集 坂野慎治
題字 島崎洋路

『育林の第一歩』
通年コース第二・三回開催報告 「植林・下草刈り、測量」

前日激しく降った雨はどこへやら。曇りがちなが涼しげな一日目。
十数年前に山火事になった西春近の下殿島区有林を森林塾の演習林としてお借りして

早六年月。その最後となる今年の植林。地拵えの済んだ林地に、一坪一本の割合で小さなヒノキの苗を、根が丸くならないように広げて、幹は直立するように丁寧に植えて頂

きました。一人平均二十本程、合計三百本弱を植林し、途中地拵えも体験しました。作業は昼前には早々に終了し、森林塾恒例の豚汁付きの昼食を現場にて。
そして午後には下草刈り。去年や一昨年に植林したところで、手鎌や造林鎌・刈払機を

使つて草や灌木を刈り払つてゆく。小さなヒノキに湿気を含んだ風とたくさんの光があるように。いずれの道具でも単純作業の重労働。けれども、作業後のきれいな林地を見渡すと・・・
二日目はコンパス測量。方位角度と斜距離と高低角を測ると森の広さがわかります。林地の形状や傾斜、標高差までも知ることが出来ます。始点と終点は同じ点、ぐるっと一周コンパス測量。誤差はで

誤差修正。平面図を完成させたら面積計算。『広さ』は、森林のもつとも基本的な情報のひとつです。どれくらいの木が育てられるのか・・・面積と樹高と本数の相関?・・・この続きは次回の測樹・施業診断にて。



一本一本、丁寧に植えてゆく



刈払機を使ってみました

8時30分
島崎先生の山小屋に集合。講師挨拶。日程説明。今回の現場は、西春近にある下殿島区有林で、植林と下草刈りを半日づつ。植林はヒノキの三年生苗の植栽。下草刈りは、主に手鎌と造林鎌ですが、希望者は刈払機での作業体験ができます。



一列になって地拵え

8時55分
休憩後、分乗して西春近へ向かう。
9時10分
林道の駐車スペースに到着後、機材を準備して徒歩で現場へ。
9時35分
現場着。早川講師による植栽地の説明と植え方の実演。

8時35分
島崎先生の挨拶。森づくりフォーラムが構築を目指す「技術習得制度(仮称)」について説明して頂く。



キンリョウソウ



盤面を水平に

10時
 植林開始。上下作業にならないように、なるべく横一列になって作業をすずめる。イントラの方が根の整理をしてくれた苗を一本一本、根が広がるように、幹が直立するように丁寧に植えてゆく。植え終わった苗のすぐ上に割り箸や木の枝を挿しておく。埋め戻した土の上に落ち葉を被せておく。

を体験。横一列になって、草や灌木をくぐるると巻きながら斜面下方へ集めて：：本来は「しま」を作りますが、今回は林縁が近かったので：：そして、この部分にも三十本程を植林。

11時30分
 豚汁もできたので、少し早めの昼食。

12時45分
 午後は下草刈り。まずは、早川講師による鎌の使い方説明。

13時
 手鎌や造林鎌を使って下草



目標を狙って！

刈り開始。希望者は刈払機での作業。みるみるうちに草や灌木が刈り払われて、小さなヒノキが林立する、綺麗な植栽地になってゆく。

14時30分
 作業を終了し、小屋へ。

15時40分
 ミズホ鋼機さんによる山道具見本市の開催。ナタ・ノコはもちろん、最新型のチェーンソーやトングといった小物類が並び、どれも購入したくなる？。ご注文頂いた方は、次回の測樹・施業診断のとき

に代金と商品の引き換えになります。

16時45分
 講師総括。終了、解散。

6月16日(土)
測量



覗きながら微調整



悪戦苦闘？

8時30分
 鳥崎先生の山小屋に集合。日程説明の後、早川講師によるコンパス測量講義。様々な測量方法がありますが、山林ではコンパス測量が一般的。前進法で方位と高低差と斜距離を測ります。講義では、その手順や注意事項、野帳の記入方法を解説して頂きました。

9時10分
 休憩後班分けをして、測量開始。携帯電話の電源を切って、小屋横の建石さんの山林内に設置された十二点を測量。傾斜のあるところでは、三脚の二本の脚を谷側へ、一本を山側へ。盤面を水平にして望遠鏡でポールを探す。磁針をフリーにして止まるまでの間に、斜距離の測定。方位角は読み方に注意。高低角はプラスとマイナスを間違わないように。移動時は磁針の固定を忘れず。そして、データの記録はもちろん、測量経路のイラスト

11時
 も書いておくと後で便利。現地測量の終わった班からデータ整理。三角関数を思い出しながら、斜距離を水平距離に換算。縮尺を決めたら製図。

12時
 小屋で昼食。藤原班は昼休みを利用して再測を実施。

13時
 製図再開。精度の確認や閉合誤差を修正して平面図を完成。

14時
 出来た平面図を三角形に分割し、一つ一つの三角形の底辺と高さを定規で実測。合計値を縮尺換算して、平方メートル単位にする面積計算。高低差の計算をした班も。イントラ川島さんによる測量ソフトでの今回の測量結果は、精度が1/26

7、面積が2536㎡
そうです。
15時45分

講師総括。終了、解散。お
疲れ様でした。

参加者ノ秋田さん、今井(杉)
さん、神田さん、工藤さ
ん、小淵さん、佐藤さん、
田村さん、中野さん、東村
さん、平野さん、水野さ
ん、熊木さん、斉藤さん、
園田さん、長坂さん



ニガナ

次回以降の予定

専門コース 第二回

7月5〜7日(木〜土)

伐倒方向や立ち位置、
チェーンソーの構え方、退避
路確保といった前回の基本の
復習と、よりステップアップ

講師ノ早川講師
スタッフノ大野 川島、小泉
藤原、坂野



アマトコロ

した方法での伐倒に挑戦して
みましょう。また、ご希望が
あれば、傾斜地での安全確実
な造材や枝払い、牽引伐倒や
ひっぱりだこ集材も可能で
す。

三日間ともに、8時30分、
鳥崎先生の山小屋集合です。

第四・五回

7月13・14日(金・土)

測樹・施業診断、
伐木造材

一日目は、どんな木がどれ
くらいあるか。ますみが丘平
地林の一角で、太さ・高さを
実際に測ってみます。そし
て、そのデータをもとに、現
在の健康状態や今後の施業の
計画を立案してみます。

また、前回山道具を注文さ
れた方は、この日に代金と商
品を引き換えますので、ご用
意願います。

一日目は、いよいよチェー
ンソーを使った実践。始動方
法や丸太の輪切り練習、玉切
り練習。受け口・つる・追い

口といった木の伐倒に関する
ことを行う予定です。
8時30分、鳥崎先生の山小
屋に集合。雨具、筆記用具と
電卓も忘れずに。

集中コース夏の部

8月2日(木)

8月4日(土)

KOA森林塾のエキスを集
めた三日間です。樹を測る測
樹やチェーンソーを使った伐
木造材、そして簡単な集材ま
で一通りの事をやってみま
す。あれやこれや盛りだくさ
んですが、何かひとつでもお
持ち帰りいただければ幸いで
す。また、初日2日(木)の
夕方は交流会です。

なお、4日(土)・5日(日)
は伊那まつり。35回目の今年
のテーマは「飛躍」。キャッチ
フレーズは「夏だ まつりだ
元気に踊ろう」。踊りはも
ちろん、花火やフリーマー
ケットなどなど。御用とお急
ぎでない方は見ていってくだ
さい。

樹のコラム

辛夷と

タムシバ

どちらもモクレン科モクレ
ン属、離弁花で落葉高木、葉
は互生。辛夷の樹高は五〜十



コブシ

五m・胸高直径二十〜三十
cm、タムシバは樹高五〜十
m・胸高直径十二〜二十cm、
どちらの花も白色で、花・材
に芳香が有りとても良い香り
がし香木とも言われていま
す。枝を折ると、なるほど香
木だと納得する香りですよ。
タムシバの葉には、噛むと
香りがあり、甘く別名をカム
シバとも言っています。私が
噛んだ時は、香りは良い香り
がし、確かに甘味はありまし
たが、その後は、舌がピリピ
リした覚えがあります。好奇
心の有る方は試して見て下さ
い。

辛夷とタムシバの葉の区別
点ですが、ひとまわりほど大
きさが違います。タムシバは
長さ六〜十二cmで幅は二〜五
cmの披針形、中央あたりでや
やくらむが全体的に見て細
長い。辛夷は長さ六〜十五cm
で幅は三〜六cmの倒卵形、中
央あたりで丸くふくらみ、柄
に近づくと細がって細くな
る。タムシバの葉は辛夷より
薄く裏面が白っぽいです。
そして花期は、タムシバが
四月〜五月、辛夷が三月〜四
月。どちらの花も六枚の花弁
をつけ、葉に先だつて白い花
を咲かせるその姿は、やっ
と暖かくなってきた陽射しを
いっぱい受け、とても嬉し
そうに咲いている感じしま
す。花はとても似ていて見分
けにくいのですが一番の区別
点は、辛夷には花のすぐ下に
葉があり、タムシバにはない
のが見分けるコツです。この
二つの花は、薬用にも使用さ
れています。開花直前の蕾を
取って陰干しにして煎服。効
能は鼻炎、蓄膿症に効果があ
るそうです。モクレン、ハク
モクレンも同様に使用し、中
国では盛んに栽培されていま
す。

果実は、どちらも赤い袋果
でコブ状です。熟すと赤い種
子が白い糸状に伸びた珠柄の
先にぶら下がって付き、見た
目が非常に変わっていて目立
つので見つけやすいです。葉
とのコントラストも美しいで
す。辛夷の名の由来ですが、
この果実の形が人の握りこぶ
しに似ていることによりま
す。ちなみに漢字の「辛夷」は
中国の別の植物の名前を誤用
したものだそうです。
このモクレン科の花は、ま
だ雪が降る季節から、白くて
柔らかい毛皮のコートの様な
軟毛に覆われた蕾を枝先に
いっぱいつけて春を待ちま
す。そんな姿を見かけるた
び、春が待ち遠しいねと話か
けたくなってしまふ私です。
「鶯」

お知らせ

定期や電卓を使わなく
ても実測データを入力す
れば、簡単な平面図の作成
や面積計算をしてくれる
便利なエクセル版測量ソ
フトがあります。ご希望の
方は事務局まで。

おわりに

梅雨…のはずですが、伊
那ではあまり雨が降りませ
ん。気温も高い日が続いてい
ます。皆様の地域はどうで
しょうか。体調を崩されませ
んよう、ご自愛願います。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、
ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
sh-sakano@koanet.co.jp
ki-hayakawa@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp